EPODOC / EPO

PN - JP58002545 A 19830108

PD - 1983-01-08

PR - JP19810099330 19810626

OPD - 1981-06-26

TI - REMOTELY-CONTROLLED VOCALIZATION APPARATUS FOR AIR CONDITIONER

IN - SUGIYAMA HAJIME; KOBAYASHI TOYOHIRO

PA - MITSUBISHI ELECTRIC CORP

ICO - R24F209/26 EC - F24F11/00

IC - F24F11/02; G09F27/00

@PAJ/JPO

PN - JP58002545 A 19830108

PD - 1983-01-08

AP - JP19810099330 19810626 IN - SUGIYAMA HAJIME; others: 01

PA - MITSUBISHI DENKI KK

TI - REMOTELY-CONTROLLED VOCALIZATION APPARATUS FOR AIRCONDITIONER

 PURPOSE:To improve performance of an air conditioner, by employing such an arrangement that operational conditions of the air conditioner and the detected room temperature are responded vocally when an operation signal is transmitted from a remote control means to the air conditioner.

- CONSTITUTION:An operation signal 2 of an air conditioner is transmitted from a remove control means 1 to a receiver 3, and a control means 4 controls and displays the operational conditions of the air conditioner on the basis of control signals given from the receiver 3 and a room-temperature detecting circuit section 9. At the same time, the control means 4 sends information 7 also to a vocalization control means 5, in which voices to be given is selected and synthesized. The voices thus selected and synthesized are sent to an amplifier 6 and then given actually at an audible level.
- F24F11/02;G09F27/00

(19) 日本国特許庁 (JP)

⑩特許出願公開

⑩ 公開特許公報 (A)

昭58—2545

⑤Int. Cl.³ F 24 F 11/02 G 09 F 27/00

識別記号

庁内整理番号 7914-3L 6865-5C

③公開 昭和58年(1983)1月8日

発明の数 審査請求 未請求

(全 2 頁)

◎空調機の遠隔操作音声発声装置

创特

昭56—99330

図出

昭56(1981)6月26日

個発 明者杉山肇

> 静岡市小鹿三丁目18番1号菱電 エンジニアリング株式会社名古 屋事業所静岡支所内

個発 明 者 小林豊博

> 静岡市小鹿三丁目18番1号三菱 電機株式会社静岡製作所內

願 人 三菱電機株式会社 勿出

東京都千代田区丸の内2丁目2

番3号

弁理士

発明の名称

空調磁の遠隔操作音声発声装置

特許請求の範囲

赤外級等の空中皮の送信で運転を透開制御す るりモコンを備えた空調機において、前配空中 彼の受信手段と、室温検知手段を有し、前記速 桶制御りモコンからの空中波信号により。 制御 内容と室温検知値を音声で応答する手段を有す。 ることを特徴とする空調機の遠隔操作音声発生 装置。

a 発明の詳細な説明

との発明は、空調機の遠隔操作信号に制御内 谷と室温俠知値を音声で応答する装置に関する ものである。

従来、空調機の遠隔操作とは、空調機本体よ り離れて、本体の状態が現在どのようになって いるかを調べ、別の状態になるように操作する 。ところが現在の状態は空調機本体の表示等を 見て知るようになっているために遠くからでは、

表示器が光っているのが見えるだけでその表示 の意味を表わす表示器に添えられている文字等 は配めないことが多く、表示器の意味する状態 が豊富になってきた今日の空網級では、それら を覚えるのもたいへんである。

との発明は、上記のような欠点を除去し、空 欝椩の操作性を改善したものである。

つまり、遠隔操作表置より空調根本体へ操作 信号が発せられた時,本体の状態と室風の検知 値を音声で応答することを目的としたものであ る。・

以下との発明の一実施例について図によって 説明する。第1図はこの発明の一実施例を示す プロック図である。印は空調機の速隔操作装置 であり、これから操作信号(2)が受伯委電(3)へ送 信される。その後に、空調機の制御装置41があ り、空調後のコンプレッサ(0)等を制御する。又 ,制御装置(4)には、入力として、前配受信装置 (3)とサーミスター(1)を入力とした室温検知回路 部(9)が又出力として音声発声制御装置(5)が。 接

特開昭58-2545(2)

統されており、それは、制御装置(4)からの情報信号(7)を受け取り、その信号に従った音声が制御装置(4)に接続された増幅器及びスピーカ(6)より発声されるよう接続される。又制御装置(4)には、表示装置(8)も接続されており、空調機の状

態表示もされる。

このように構成された、空調級の逮隔操作音声発声とした情化された、空調級の逮属操作者と問題の作用について説明する。空調級の操作者に引まり受信基準(3)に向けて送信される。制御委員(4)は、受信委員(3)及び室温後知回路部(9)からその制御信号を受け、空調機の制御及び表示を行う。又、音声発声制の要量(5)へも、情報信号(7)を送る。これを受けた音声制の要量は、発声すべき音声を提択、合成して増幅器(6)へと送られ、発声する。

この希明に以上に述べたように、空調磁の状態を表示器で表示させるだけでなく。 音声で発声する手段を有したもので、遠隔操作装置が使用される状況を考えてみた場合、表示が見えても、それが表す意味がわかりにくい時。 聴覚に

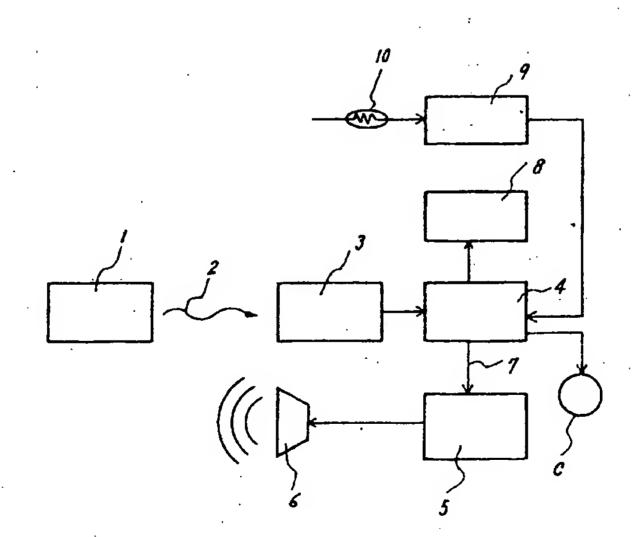
訴えることができ、非常に効果大なるものがあ る。

4 図面の簡単な説明

第1図はこの発明による空調機の速隔操作者 声発声装置を示すプロック図である。

(1) は建築操作装置,(2) は制御信号,(3) は受信 装置,(4) は空調機の制御装置、(5) は音声発声制 御装置、(6) な音声の増幅器,(7) は情報信号,(8) は空調機の状態表示器,00 は室温検知用サーミ スター、(9) は室温検知回路部である。

代理人 葛野信一



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

□ BLACK BORDERS
□ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
□ FADED TEXT OR DRAWING
□ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
□ SKEWED/SLANTED IMAGES
□ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
□ GRAY SCALE DOCUMENTS
□ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
□ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

OTHER: